

145 保榮茂タルチー（ホ）

（牛抱え・仕事は弁当）

タルチーというのはね、タルーヤツチーという言い分だったって。あんまり力が強いもんでね、田んぼに行ったら、牛の足を捕まえてこんなにしおったという力持ちだったらしいですよ。

あれ、アシ川（小地名）というのが伊原の境界にある、川が。その近辺は、昔は田んぼだったって。田んぼだったから、その田んぼにこの、やっぱしこの、保榮茂というところの、デーブシの人たちが囲っていなかったかね。

そこにね、田んぼ耕しに来て。したら、そこはまた、アシ川といって川があるんだが。牛なんか持って来てこれ、田んぼ踏ますでしょう。土踏みさせるでしょう、牛は。牛ね、歩く時にはよ、このデーブシが、四つの足捕まえてね。こんなこの、いちいちあれするのはうるさいから、捕まえてよ。川にね、こんなんして突っ込んでよ、引き上げてね、そのまんまにしておったで

すよ。そんなにも力持ちだったって。

それでね、またこの、やっぱしこれも、頭も優れてはいるけれども、やっぱしあの、利口な者であつただろうね。田んぼにね、農作業をさせに行かしたら、お弁当持たしてね、こっちに行かしたら、東辺名というところは向こうだから、ずっと遠いでしょう。弁当持たして行くんだから、あそこは。こっち来たらよ、お弁当持たしてね、田んぼに行かしたら、鉾があるでしょう。あの、田んぼ耕す鉾。その鉾にね、弁当下げてよ、「やりなさい、鉾。やりなさい、鉾」と言つて、自分は座つておつてよ。自分は日陰に座つて休んでおつて、そんなにしてね、

「鉾よ、やれやれ。鉾、やれ」と言つてね、鉾に弁当括つてよ、下げてよ、やりなさい、やりなさいと言う。自分は座つておつて何する人だったって、この人は。

類話

字東里 玉城佐一郎（東辺名区）

字福地 川門カメ

字伊原 玉城ハル